

2025年6月23日

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社

2025年新入社員意識調査について

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社（代表取締役 佐々木泰司）は、岩手県内企業の新入社員を対象として実施した「2025年新入社員意識調査」の結果を以下のとおり公表します。

1. 就職活動について

就職先として岩手県内企業を選んだ理由は、「地元への愛着がある（地元貢献を含む）」（48.6%）が最多

2. 職業観

就職先での勤続意向については、「定年まで勤めることにはこだわらない」（38.8%）が最多

3. 生活観

初任給の使い道は、「貯蓄」（59.1%）、「生活費」（52.6%）、「家族へのプレゼント」（43.9%）が上位

本調査の内容は別紙のとおりです。

なお、本調査については6月30日に弊社ホームページへ掲載いたします。

（弊社ホームページ ⇒ レポート ⇒ Research Report 2025年7月）

《問い合わせ先》

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社
経営支援部 地域経済調査担当 佐々木 邦光
TEL：080-8601-7404

2025年6月23日

2025年 新入社員意識調査

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社岩手銀行

代表取締役 佐々木 泰司

盛岡市中央通一丁目2番3号

(担当 経営支援部 地域経済調査担当 佐々木 邦光)

TEL 080-8601-7404

2025年新入社員意識調査

当社では、岩手県内新入社員を対象として、就職活動のほか職業観や生活観に関するアンケート調査を行った。調査要領は以下のとおりである。

【調査要領】

○調査時期 2025年3月～4月

○回答者数 176名

(男性89名、女性87名)

(高校卒46名、専門学校卒26名、短大卒13名、大卒・大学院卒91名)

《調査結果の概要》

1. 就職活動について

● 就職活動を振り返った感想

就職活動を振り返って、「それほど厳しくなかった」(65.5%)と「楽だった」(5.7%)の合計は71.2%となった。約7割の新入社員にとって、就職活動はほぼ順調だったことが窺える。

● 就職先として岩手県内企業を選んだ理由

「地元への愛着がある(地元貢献を含む)」(48.6%)、「家族や友人が近くにいる」(33.5%)、「住居費等経済的負担が少ない」(22.5%)が上位となった。

2. 職業観について

● 就職先を決める際に重視したこと

「仕事の内容に興味がある」(36.6%)、「堅実で安定性がある」(31.2%)、「労働条件(勤務時間、休日、休暇等)が良い」(22.9%)の順となった。

● 就職先への勤続意向

就職先にいつまで勤めたいか聞いたところ、「定年まで勤めることにはこだわらない」(38.8%)が最も多かった。

3. 生活観について

● 初任給の使い道

「貯蓄」が59.1%と最も多く、前年に比べて13.5ポイント増加した。

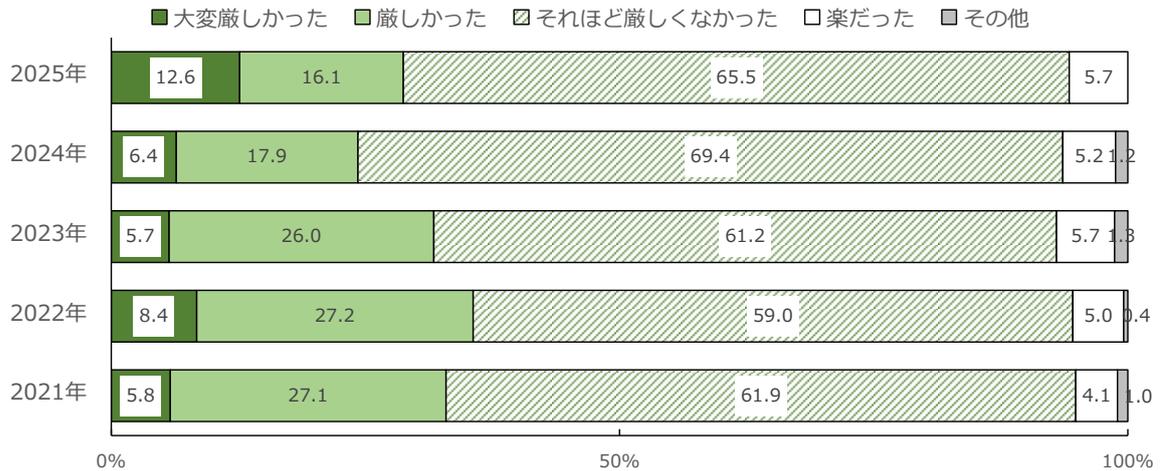
1. 就職活動について

(1) 就職活動を振り返った感想

就職活動を振り返った感想について、「それほど厳しくなかった」(65.5%)と「楽しかった」(5.7%)の合計は、71.2%となった。

約7割の新入社員にとって、就職活動はほぼ順調だったことが窺える(図表1)。

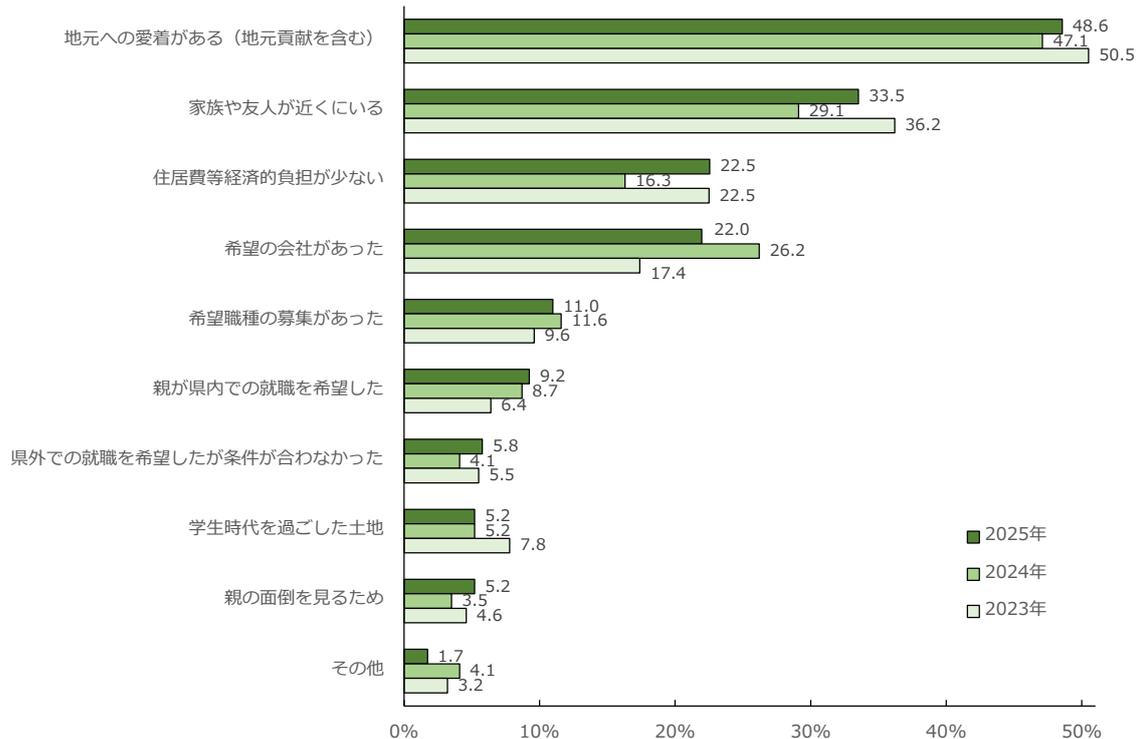
図表1 就職活動を振り返った感想



(2) 就職先として岩手県内企業を選んだ理由

就職先として岩手県内企業を選んだ理由は、「地元への愛着がある(地元貢献を含む)」(48.6%)が最も多く、次いで、「家族や友人が近くにいる」(33.5%)、「住居費等経済的負担が少ない」(22.5%)の順となった(図表2)。

図表2 就職先として岩手県内企業を選んだ理由(最大2つまでの複数回答)



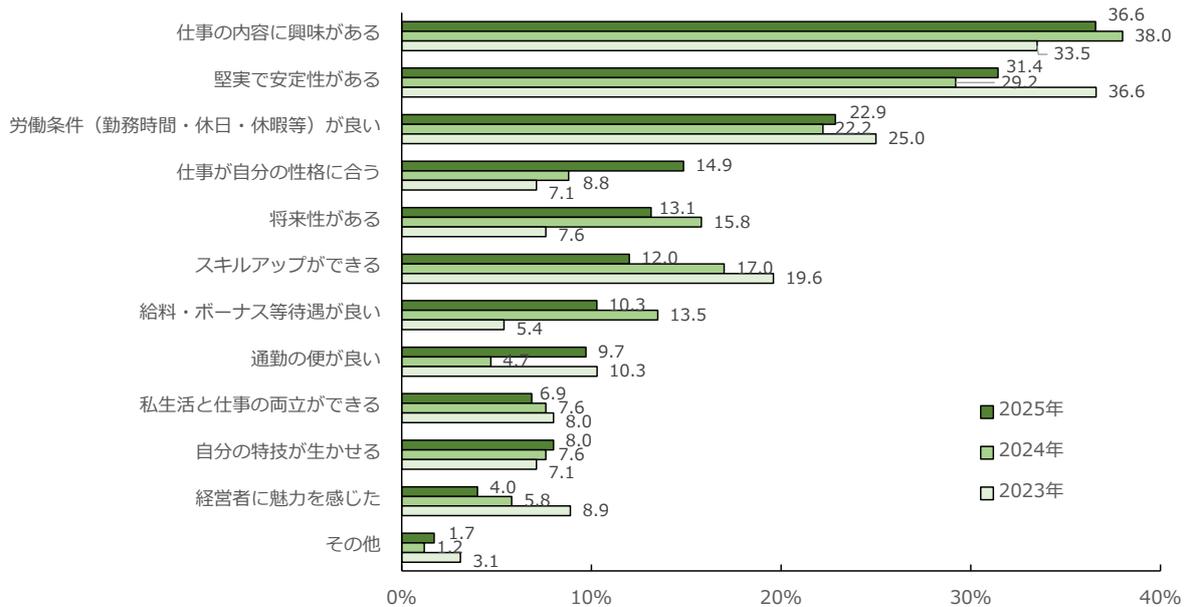
2. 職業観

(1) 就職先を決める際に重視したこと

就職先を決める際に重視したことは、「仕事の内容に興味がある」(36.6%)が最も多く、次いで「堅実で安定性がある」(31.4%)、「労働条件(勤務時間・休日・休暇等)が良い」(22.9%)、「仕事が自分の性格に合う」(14.9%)の順となった。

一方、「経営者に魅力を感じた」(4.0%)は最下位であり、減少傾向にある(図表3)。

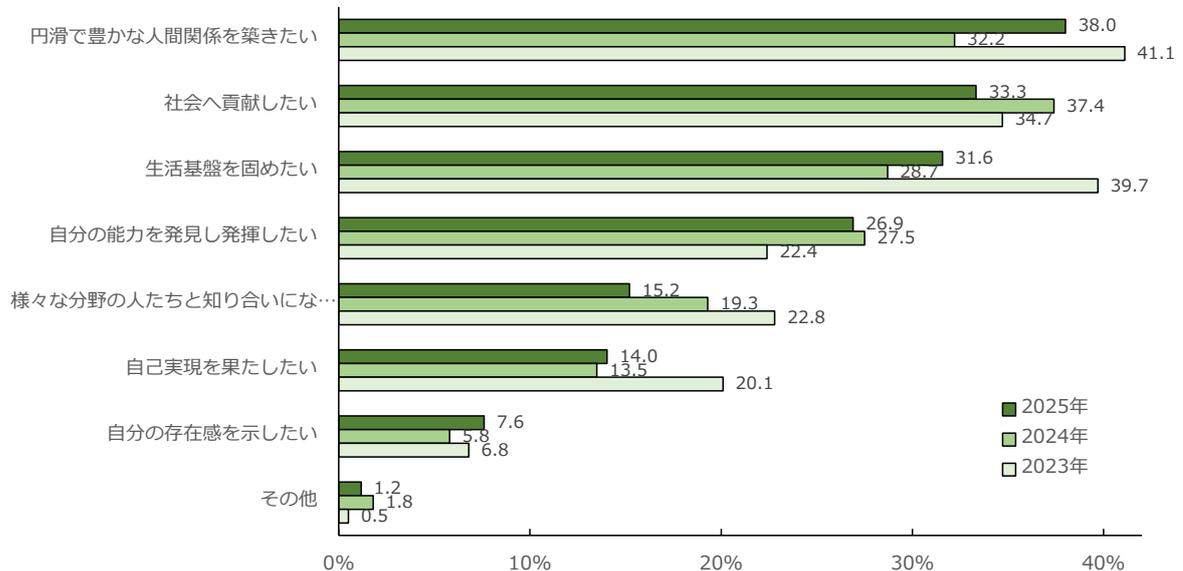
図表3 就職先を決める際に重視したこと(最大2つまでの複数回答)



(2) 社会人生活に期待すること

社会人生活に期待することとしては、「円滑で豊かな人間関係を築きたい」(38.0%)が最も多く、次いで「社会へ貢献したい」(33.3%)、「生活基盤を固めたい」(31.6%)の順となった。(図表4)。

図表4 社会人生活に期待すること(最大2つまでの複数回答)

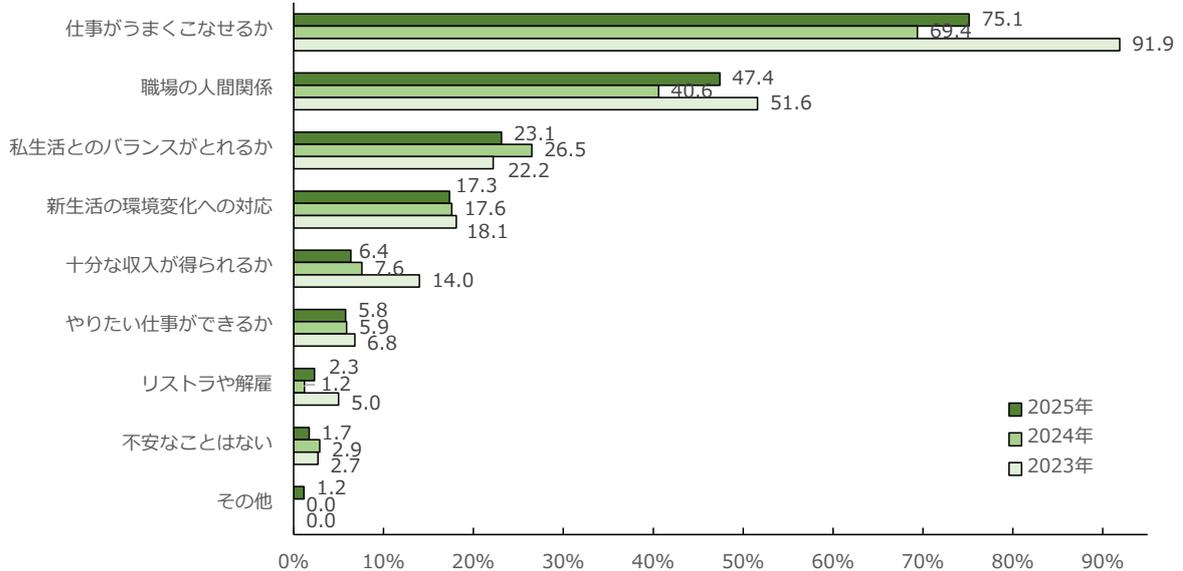


(3) 社会人生活で不安に感じること

社会人生活で不安に感じることについては、「仕事がうまくこなせるか」(75.1%)が最も多く、次いで「職場の人間関係」(47.4%)となった。

一方、「不安なことはない」とした新入社員は1.7%に留まり、それ以外の新入社員(全体の98.3%)は社会人生活について様々な不安を感じている(図表5)。

図表5 社会人生活で不安を感じること(最大2つまでの複数回答)

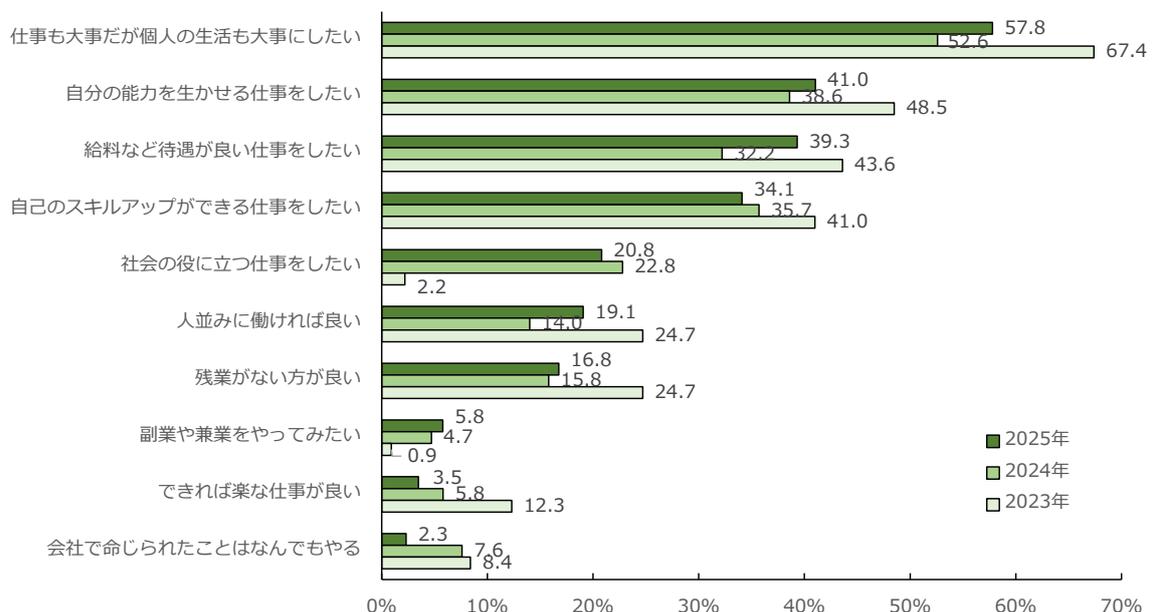


(4) 仕事の内容や働き方について

仕事の内容や働き方についての考え方は、「仕事も大事だが個人の生活も大事にしたい」(57.8%)が最も多かった。

また、最近3年間の傾向として、「社会の役に立つ仕事をしたい」(20.8%)、「副業・兼業をやってみよう」(5.8%)が増加傾向にある一方で、「できれば楽な仕事が良い」(3.5%)、「会社で命じられたことは何でもやる」(2.3%)は減少傾向にある(図表6)。

図表6 仕事の内容や働き方についての考え方(最大3つまでの複数回答)

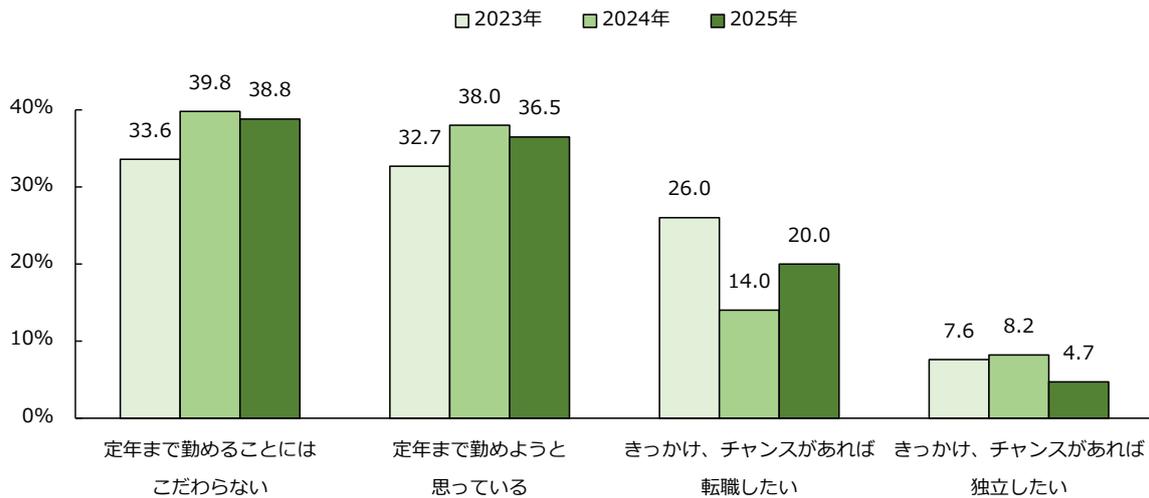


（５）就職先での勤続意向

就職先にいつまで勤めたいか聞いたところ、「定年まで勤めることにはこだわらない」（38.8%）が最も多かった。

また、「きっかけ、チャンスがあれば転職したい」が20.2%、「きっかけ、チャンスがあれば独立したい」が4.7%であり、新入社員の4分の1ほどは、転職あるいは独立を視野に入れていることが窺える（図表7）。

図表7 就職先にいつまで勤めたいか

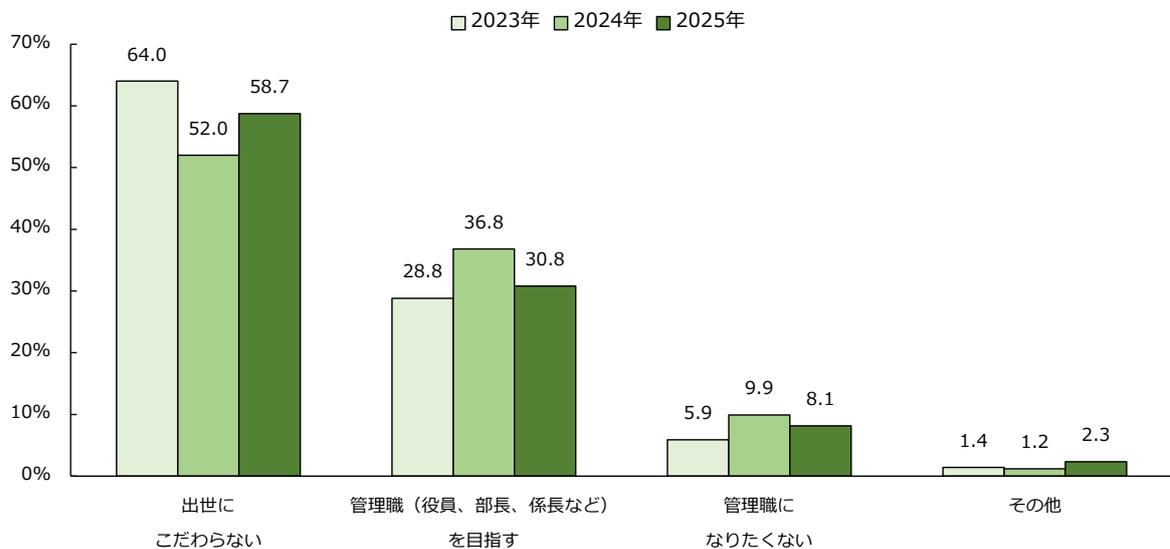


（６）将来目指したい役職

将来目指したい役職を聞いたところ、「出世にこだわらない」（58.7%）が最も多かった。

また、「管理職（役員・部長・係長など）を目指す」は30.8%となり、前年に比べて6.0ポイント減少した（図表8）。

図表8 将来目指したい役職



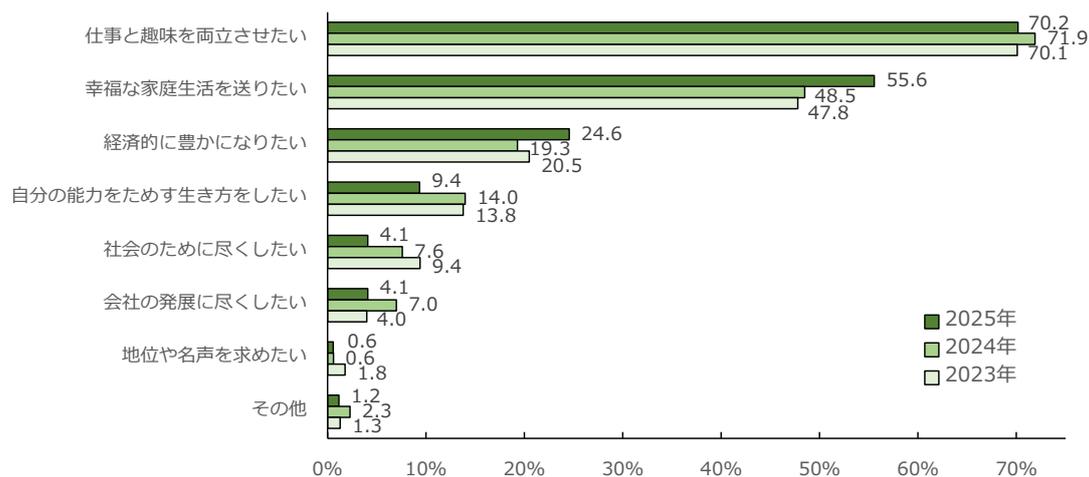
3. 生活観

(1) 理想とする生き方

理想とする生き方について聞いたところ、「仕事と趣味を両立させたい」(70.2%)が最も多く、次いで「幸福な家庭生活を送りたい」(55.6%)、「経済的に豊かになりたい」(24.6%)の順となった。

一方、「地位や名声を求めたい」(0.6%)は最下位であった。(図表9)。

図表9 理想とする生き方(最大2つまでの複数回答)

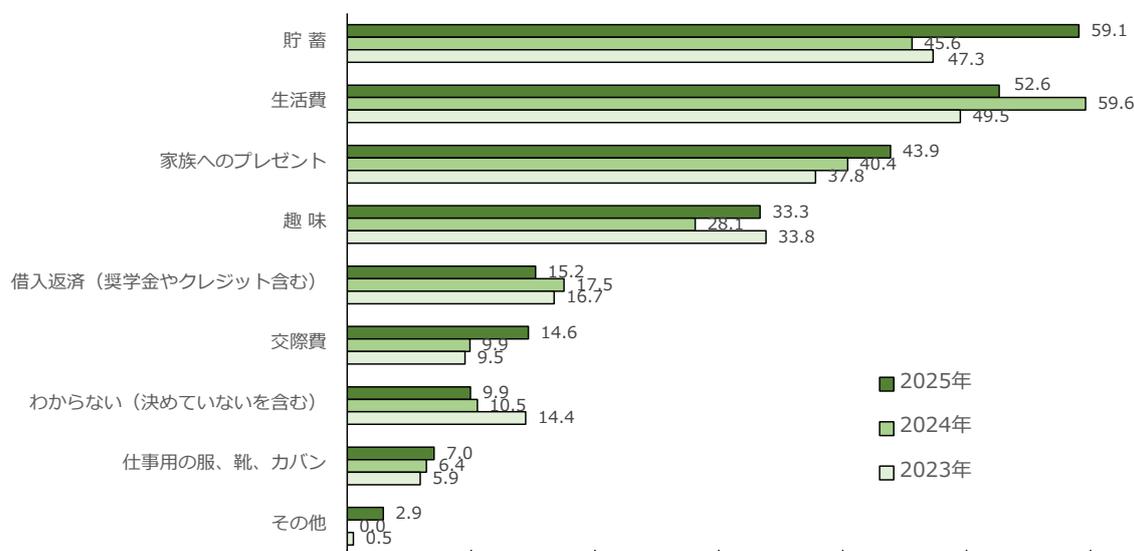


(2) 初任給の使い道

初任給の使い道については、前年は2位だった「貯蓄」(59.1%)が本年は最も多く、前年に比べて13.5ポイント増加した。

次いで「生活費」(52.6%)、「家族へのプレゼント」(43.9%)、「趣味」(33.3%)、「借入返済(奨学金やクレジット含む)」(15.2%)の順となった(図表10)。

図表10 初任給の使い道(最大3つまでの複数回答)



(シニアマネジャー 佐々木 邦光)